

2018 6/12

# ゆるみとゆがみ

## 日本経済の明と暗

▶1

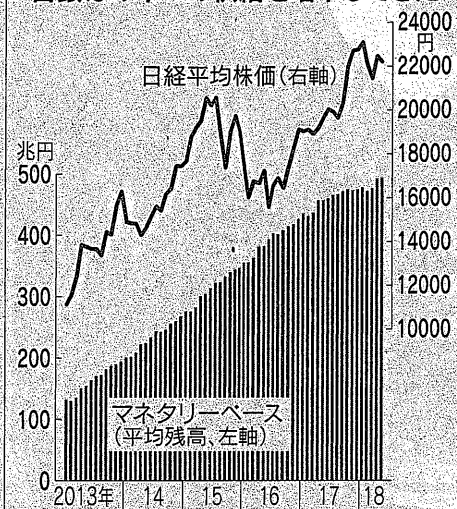
# 株高で億万長者6割増

のリーマン・ショックで吹き飛び、その後の世界経済の低迷で運用難を極めた。潮目が変わったのは13年。4月に日銀が黒田東彦総裁

「異次元緩和がなければ1億円にはまだ手は届かなかった」。千葉市に住む個人投資家の山田貴幸さん(仮名、65)は、自らの資産のポートフォリオを眺め、喜びをかみしめる。2017年秋、日経平均株価がバブル崩壊後の最高値へ向けて上昇するのに伴い、株式や株式投信で運用していた山田さんの金融資産も1億円を超えた。

山田さんの運用益は08年つ人ほどの恩恵を得てお

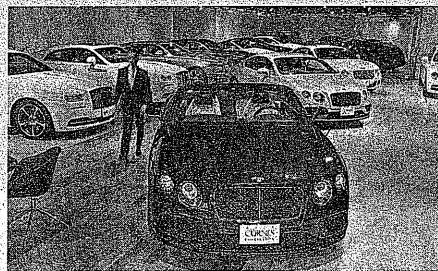
### 日銀はマネーの供給を増やしてきた



株や土地などの資産を持つ

り、多数の「緩和長者」を生み出した。国税庁によると16年の年間所得1億円超の人は500人で、5年前に比べ6割増えた。そのうち1

## お金の使い方質に変化



シヨールムに並ぶ海外の高級車(東京都千代田区)

だ。ファーストクラスでは要望を満たせるからだ。飽きたらず、満足のいく旅のために個人で飛行機を手やターする。この企業オーナーは4泊5日の香港旅行に約2000万円費やした。「富裕層のお金の使い方質が変わった」(新井社長)

ランボルギーニにペントレー。2000万円からという超高級車を集めたコース・モータース(東京・港)の展示場がホテルニューオータニ(東京・千代田)の一角にお目見えした。5月に開かれた英国車の中古車販売会には60組の顧客が足を運び、2日で6台が売れた。なぜあえて中古車かといえば、納車に時間のかかる新車と違い「今すぐほしい」という富裕層の

人に増えた。

株価が堅調に推移し、雇用環境がバブル期以来の人手不足の水準になりながら

も日銀は金融緩和をやめようとしな。緩んだマネーに経済の一部は過度とも思えるほど潤い、一部にはゆがみをもたらす。現場の明暗を追う。